

環境経営レポート

適応規格：エコアクション21に準拠
(2017年環境経営システムガイドライン)

2024年度(第16版)

活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日



Sun-Bright

株式会社サン・ブライト

2025年 9月 2日

環境経営方針

1. 事業活動及び製品・サービスにおいて、継続して環境保全と環境汚染の未然防止に努め、企業の社会的責任を果たします。
2. 環境に関連する法令や規則その他の守るべき事項を遵守し、地域との共生を図ります。
3. 社員全員が積極的に環境保全に関心を持ち、健康経営持続のため下記の事項を重点活動として取り組みます。
 - ①電力、化石燃料を節減し、CO₂の削減に努めます。
 - ②資源の有効活用を推進し、経費の削減に取り組みます。
 - ③環境に優しい製品を提案し、顧客満足度の推進に努めます。
 - ④業務効率改善のため、デジタル化の推進をします。
4. 環境経営の継続的改善を実施します。
5. この環境経営方針は、全社員に周知徹底し、全員参加で自主的に活動し、美しい地球を子孫に残せるよう努めます。

〈2009年2月1日制定、最終改訂2025年9月12日〉

長野県塩尻市宗賀平出67-1

株式会社サン・ブライト

代表取締役社長

猿田 明

事業の概要

1. 事業者名及び代表者名

事業者名：株式会社サン・ブライト
代表者名：代表取締役社長 猿田 明
設立：1988年10月
資本金：2,300万円

2. 所在地

本社・工場
〒399-6461 長野県塩尻市宗賀平出 67-1
TEL:0263-52-8216 FAX:0263-52-9775
◆E-mail info@sun-bright.co.jp
◆URL http://www.Sun-bright.co.jp

3. 事業の規模

活動規模	単位	2024年度	2023年度	2022年度
売上高	百万円	211	283	429
従業員	人	22名	26名	28名
床面積	m ²	648	648	648

4. 事業内容

省力化機器他、設計・製造・ソフト開発

[設計開発関係]

各種加工機 供給・収納ロボット 計測検査装置 (他分野への対応)

制御計測用回路基本設計 ソフトウェア開発

省力化機械 電装設計配線 シーケンスソフト開発

[製造関係]

省力化機械 本組・サブ組・電装配線・据付・サービス
電子回路基板 (設計) 製作・検査・アッセンブリ
試作基板・装置 設計・製作

5. 環境管理責任者・事務局の連絡先

環境管理責任者 櫻井 龍正
事務局 白鳥 成美
実行委員 百瀬昌幸・鎌水越子・古川悟
連絡先 〒399-6461 長野県塩尻市宗賀平出 67-1
TEL:0263-52-8216 FAX:0263-52-9775

認証・登録の対象活動範囲

省力化機器他、設計・製造・ソフト開発

対象事業所

本社・工場

エコアクション21 認証・登録

登録番号：0004246 登録日：2009年10月15日
更新登録日：2023年10月15日 有効期限：2025年10月14日
10年継続：2019年11月 エコアクション21 認証・登録10年継続

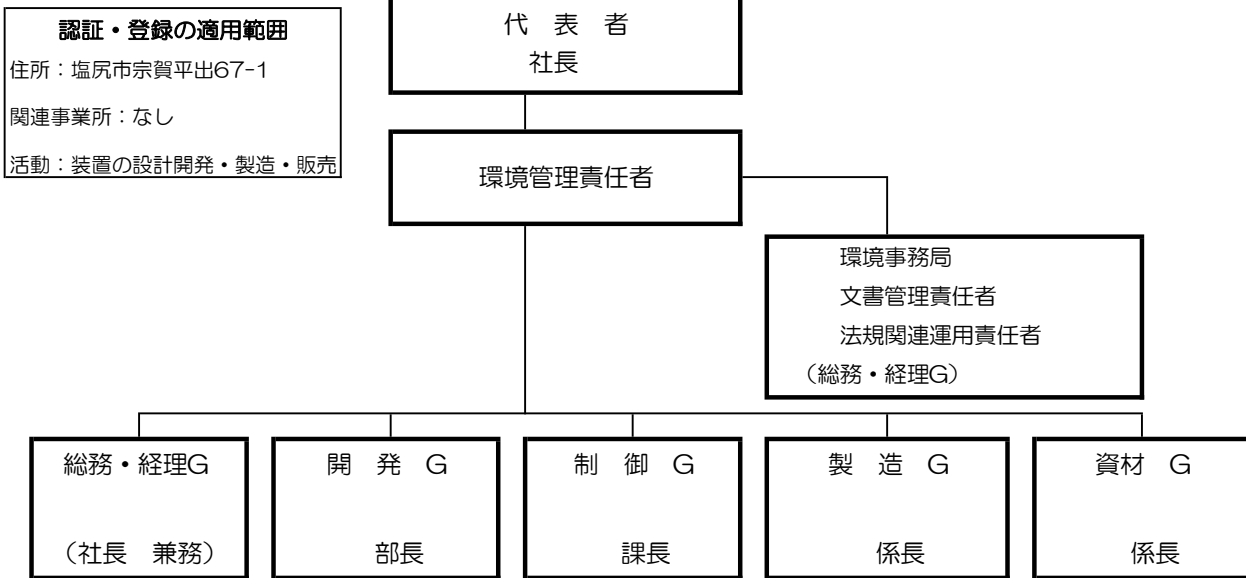
長野県SDGs推進企業登録 第16期 2023年4月28日 (No.1914)

環境経営レポート

2024年度 2025年 9 月 3 日 作成
<対象期間2024年4月1日~2025年3月31日>

環境経営実施体制

環境経営システム組織図 (改定-15)



担当部門	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任者 環境経営システムの継続的な活動実施に必要な人・設備・費用・時間・技能者を用意する 環境管理責任者を任命する 環境経営活動実施計画の承認 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 SDGsの取組指示・従業員への周知・徹底 代表者に依る全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営管理システムを構築し、実施し、管理する。 SDGs目標実現のための具体的行動計画作成・進捗管理・見直し 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境活動実施計画書を作成及び社員全員への周知徹底 環境活動の取り組み状況・結果を半期毎に全従業員に報告する 環境活動計画の作成及び活動全般の取り組み結果を代表者へ報告 5S活動の推進
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、EA21推進会議の事務局、SDGs目標達成の推進 環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成及び代表者承認後発行 環境経営計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口及び立案・実施活動の推進
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及びSDGs目標達成状況の報告 自部門の問題点の発見・是正・予防措置 自部門における環境経営方針の周知 自部門における教育訓練の実施（自発的に訓練の受講及び受講講座・内容の提案実施） 特定された項目の手順書作成及び運用管理（各部門の提案行動を事務局がまとめ、全社に周知） 自部門に関連する緊急事態への対応の手順書作成、及び訓練・記録(同上)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を理解し、環境への取り組み・5Sの重要性を自覚、自発的に行動する SDGsを意識した自発的行動の実行 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加する

制定日： 2009年2月1日	改定-2： 2011年8月1日	改訂-4： 2013年5月 20日
改定-1： 2010年8月12日	改定-3： 2012年6月1日	改訂-5： 2014年4月 1日
改訂-6： 2015年4月1日	改定-7： 2017年4月1日	改定-8： 2018年4月 1日
改定-9： 2019年7月 10日	改定-10： 2021年1月5日	改定-11： 2021年10月 20日
改定-12： 2022年7月 21日	改定-13： 2023年4月1日	改定-14： 2023年6月 15日
改定-15： 2025年8月15日		

SDGs目標達成への貢献

長野県SDGs推進企業登録 No. 1914 (第16期)

SDGs達成に向けた経営方針

当社は、ものづくりのモットーである“お客様の『困ったな!!こんな装置あったらいいな』を“カタチ”にし、省力化・省資源化対応の装置開発とサービスを提供しています。

お客様の知識と当社の装置開発力の結集による取り組みは、“CO2削減”・“プラスチックの使用量削減”・“資源の有効活用”を実現します。

社員一人一人が、当社で身に着けた技術力は、その時代に合った地球環境を守るモノづくりに発揮され、SDGsの目標達成に貢献します。



SDGsの17のゴールに対して該当する活動の項目

SDGs活動内容 (1/2)

活動項目・内容等		活動の該当ゴールNo.																
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働 及び 工場環境 働き方改革	【差別的禁止】 (年齢・障害・国籍・出身)雇用条件に差別なし			◎			◎		◎							◎		
	【ハラスメントの禁止】 (セクハラ・パワハラ・マタハラ等のハラスメントを防ぐ体制)			◎			◎									◎		
	【労働時間】過度な長時間労働の防止(労使協定の締結)						◎											
	【外国人労働者】 外国人労働者に対する差別・人権侵害が無いことの取組		◎				◎		◎									
	【労働安全衛生】 作業中の事故防止のための、安全衛生的な環境整備への取組	◎					◎											
	【メンタルヘルス】 労働者のメンタルヘルスの良好維持の取組	◎																
	【ダイバーシティ経営】 多様な人材が十分活躍できる環境整備の取組			◎			◎		◎									
	【人材育成】 適切な能力開発。教育訓練の機会を従業員に均等に提供		◎	◎			◎	◎										
	【公正な待遇】 同一労働同一賃金の原則に沿って、最低賃金の変更対応			◎			◎		◎									
	有給休暇の利用率向上			◎														
休暇制度の見直し、男女格差・全ての格差の是正、 質の高い職業教育	◎		◎	◎	◎	◎												
職業的スキルアップ 働きがい		◎																
残業時間の抑制					◎								◎					
LED照明への切り替え					◎													
製品・材料の余剰在庫の回避、在庫管理システム											◎	◎						
ea21事務局・5S委員会の一体活動とSDGs推進活動																◎		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 活動内容 (2/2)

活動項目・内容等	活動の該当ゴールNo.																
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	【廃棄物】 廃棄物の管理（分別）を適切に行い、処理に取り組んでいる									◎	◎		◎				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 自社のエネルギー使用量、CO2排出量を把握している ★エコアクション21活動					◎						◎					
	【有害物質】 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	◎				◎					◎	◎					
	【生物多様性】 自社活動が生物多様性や生態系に影響を及ぼさない様配慮している					◎									◎		
	【3Rの推進】 リデュース・リユース、リサイクルに取り組んでいる											◎		◎			
	【水の管理】 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる					◎											
	【環境マネジメントシステム】 エコアクション21を認証・取得している	◎				◎	◎					◎	◎	◎	◎		
	【環境情報開示】 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している エコアクション21：環境経営レポート、当社ホームページ											◎					
	【再生可能エネルギーの利用】 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる ※太陽光パネル					◎							◎				
【天然資源の持続的利用】 天然資源（化石燃料）の持続的利用に配慮した調整に取り組んでいる											◎	◎	◎	◎			
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 汚職・贈収賄を防止する方針を掲げ、社員に周知している（就業規則）														◎		
	【公正な競争】 不正競争行為に関与しない方針を上げ、社員に周知している														◎		
	【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組み ・ 特許申請及び管理を行っている							◎	◎								
	【個人情報保護】 個人情報を適切に取り組んでいる														◎		
	【紛争物】 紛争鉱物を使用した製品・部品を使用のないことを確認している														◎		
	【サプライチェーン管理の向上】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止等） →就業規則記載			◎				◎		◎		◎	◎	◎	◎	◎	

※ SDGs : 2015年9月「国連持続可能な開発サミット」で採択されたもの。 国連加盟193か国が
2016年~2030年の15年間で 達成するために掲げた目標。
17の目標とそれらを実行するための具体的な169のターゲットで構成されている。

環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

(1) 過去の環境負荷実績

区 分		単位	2022年度	2023年度	2024年度	過去3年間の平均	
		kg-CO2	34,786	30,111	28,953	31,283	
二酸化炭素総排出量	電力	kwh	48,309	43,206	43,702	45,072	
	灯油	L	743	50	0	264	
	液化石油ガス (LPG)	kg	76.0	56.0	49.1	60	
	自動車燃料	ガソリン	L	2,998	2,991	3,282	3,090
		軽油	L	368	270	468	369
	廃プラ	t	1.14	0.62	0.46	0.74	
	一般廃棄物 (可燃・資源)	t	4118	1873	1795	2,595	
廃棄物	混合廃棄物	t	1.85	4.29	0.995	2.38	
排水	水道水	m ³	188	168	135	164	
環境にやさしい製品の開発	装置台数				1	0.33	
	エコライト台数		610	596	393	533	

(2) 環境経営目標

2024年度 環境活動 (売上比)

※上段計画、下段実績と評価

区分		過去3年 平均	2024 年 目標値	-3.5%	2025 年 目標値	-3.6%	2026 年 目標値	-3.7%
二酸化炭素総排出量	CO2排出量 (Kg-CO2 /百万円)	105	目標 101.17		101.06		100.96	
			実績 136.55	×				
	電気使用量の削減 (kWh /百万円)	147	目標 142.06		141.91		141.76	
			実績 205.57	×				
	灯油使用量の削減 (ℓ /百万円)	739	目標 712.72		711.98		711.24	
			実績 0.00	○				
	LPG使用量の削減 (Kg /百万円)	0.20	計画 0.20		0.20		0.20	
		実績 0.23	×					
ガソリン使用量の削減 (ℓ /百万円)	9.15	目標 8.83		8.82		8.81		
		実績 15.4	×					
軽油使用量の削減 (ℓ /百万円)	0.88	目標 0.84		0.84		0.84		
		実績 2.20	×					
廃プラの削減 (Kg /百万円)	3.38	計画 3.26		3.26		3.26		
		実績 2.16	○					
一般廃棄物の削減 (Kg /百万円)	12.89	計画 12.44		12.43		12.41		
		実績 8.4	○					
混合廃棄物の削減 (Kg /百万円)	7.92	計画 7.64		7.63		7.62		
		実績 4.68	○					
水使用量の削減 (m ³ /百万円)	0.57	計画 0.55		0.55		0.55		
		実績 0.64	×					
環境に優しい製品 装置、エコライト	0.00	計画 顧客要求		顧客要求		顧客要求		
		実績 要求に対して100%実現		要求に対して100%実現		要求に対して100%実現		

※1 CO2排出量産出基準

(使用化石燃料) × 排出係数 + 購入電力 × CO2排出係数

0.459 kg-CO2/kWh

※2 会社周辺の清掃、ボランティア活動への参加回数、等

・今期の活動評価

売上が減少しているが、生産活動はしているので二酸化炭素総排出量をおさえることができなかったが廃棄物は物量が少なくなっているため平均より減らすことができた

・来年度について

灯油・LPG・軽油・水については、削減できる範囲はし削減したため、目標からは外し記録のみとする。また、廃棄物についても、改善が進み増減が売り上げに左右されるため、目標からは外し記録のみとする。

(3) 環境経営実施計画及び行動実績評価

環境経営方針	区分	具体的行動	評価	
			(○,×記載)	内容
電力・化石燃料の節減	電気使用量の削減	昼、休憩時間、終業後、人のいない時、場所のスイッチは切る。	◎	休憩時、帰宅時職場単位で電気を消すことができている
		照明器具の適正配置・LED照明への変更	◎	達成率：100%（工場蛍光灯）
		エアコンの簡易点検・清掃 及び 定期点検の実施	△	清掃は大掃除で行っているが点検ができなかった
		冷房の温度管理 28℃、暖房の温度管理 20℃	△	近年気温が高くなっていることもあり設定温度を守れていない見直しが必要
	灯油使用料削減	エアコンメインの暖房による温度管理の継続。従来、使用の灯油の使用”ゼロ”の実現。	◎	灯油ストーブの使用頻度が大幅にダウン状況にあり
		退出時には必ずストーブを消すを継続（頻度減少によるチェックもれの監視）	◎	一部にて実施の意識あり。
	LPG使用量の削減	温水の垂れ流し的な無駄な使用をしない	○	ガス給湯器の温水使用頻度を減らす意識はあり。特に夏場での意識高い。削減できており、継続監視
	ガソリン・軽油の使用量削減	運行の効率アップ（無駄な運行の防止）	○	継続する
		急加速・急停止の防止	○	目立った荒い運転状況は見られず。継続監視。
		カーエアコンの冷暖房の高効率使用・・目安 25℃での使用	○	カーエアコンの設定再度周知する
廃棄物の分別、再資源化	廃プラの削減	梱包材への再利用の徹底	○	梱包材に使用できるものは使用できている
		納入業者への梱包のスリム化を要請の実施検討 継続（長年未実施の課題であり、発生は抑えられないとして資源化率の向上を目指す行動に変更検討）	△	継続する
	一般廃棄物の削減	紙、雑誌、ダンボールの資源化の徹底（小さい物は箱・袋に入れる）	○	現状分別意識、習慣付けは浸透している。認識・徹底を継続。
		書類はシュレッダーで裁断。又は、業者に溶解処理を依頼し、資源化する。（カーボン紙は除く）	○	溶解での処理比率増の目的に（継続）
		コピー用紙の使用量抑制、資源化の徹底。裏紙使用の推進	○	コピー量の削減・裏紙を出さない 工夫の検討必要（継続）
		図面等のPDFファイル化の推進。（発注時の紙出力の削減）	○	継続実施
		注文書等のPCFAX・インターネットFAX化の実施。	○	一部紙を出しFAXする傾向がある
	混合廃棄物の削減	分別を徹底し資源化する。⇒従来の金属と廃棄物の分離を向上させる。具体的な行動できなかった2023年度の状況から資源化率5%以上のアップ	○	組立た部品を分解し資源の分別を行うように周知した
	廃プラの削減	梱包材への再利用の徹底	○	継続する
		納入業者への梱包のスリム化を要請の実施検討 継続（長年未実施の課題であり、発生は抑えられないとして資源化率の向上を目指す行動に変更検討）	△	継続する
化学物質使用量の削減・節水	水使用量の削減	手洗い、トイレ等での節水（節水の注意書き）の徹底	○	継続して行動する
		水撒き時の節水、凍結防止目的の流水の削減	○	水の無駄使いは見られない→継続
	化学物質使用の管理	使用化学物質のリスト化、保管場所の明確化、継続監視	○	常に最少保有を意識する
		PRTR,第一種対象化学物質の保有種類の削減,削減目標⇒PRTR・第一種化学物質の使用量・保有量の抑制	○	常に最少保有を意識する。購入も最小数量にて
環境に優しい製品の提案。グリーン購入	環境を意識した製品開発・製造・販売	環境負荷を意識した製品開発・製造・販売の推進 ⇒SDGS につながる具体的な計画・行動を明確化・実行の継続	○	SDGsに貢献できている実績をアピール、目標達成のための積極的な活動の推進継続。
	自主的なグリーン購入	グリーン購入の自主行動の継続 → グリーン調達への意識変更・実現目標の構築	△	事務消耗品などグリーン購入を検索キーワードとしている
その他	緊急事態対応	①火災・地震をを想定した避難訓練の実施。 ②緊急時対応（有機物質の漏れ対応を含む）のチェックリスト	① ○ ② ○	実践意識での継続実施をする

(4) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

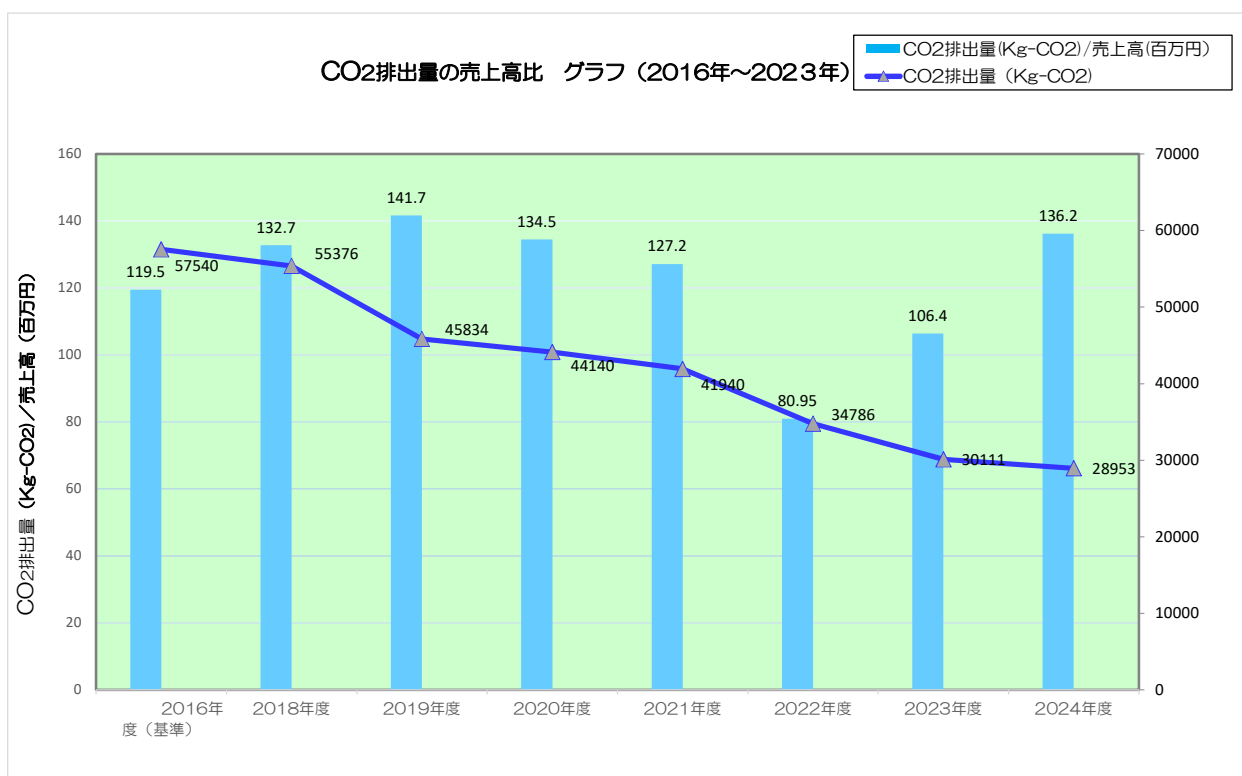
環境経営方針	環境経営目標	環境経営計画（具体的行動）
電力・化石燃料の節減、CO ₂ の削減	電気使用量の削減	昼、休憩時間、終業後、人のいない時、場所のスイッチは切る。
		照明器具の適正配置
		エアコンの簡易点検・清掃 及び 定期点検の実施 電気ストーブの点検・見直し
		冷房の温度管理 28℃、暖房の温度管理 20℃ 熱中症対策により温度の見直し
	灯油使用料削減	灯油ストーブの使用禁止
	LPG使用量の削減	温水器での無駄な垂れ流し的使用をしない LPGガス使用→他の給湯の検討（費用対効果とメリット）
	ガソリン・軽油の使用量削減	運行の効率アップ（無駄な運行の防止）
急加速・急停止の防止		
カーエアコンの冷暖房の高効率使用・・・目安 25℃での使用		
資源の有効活用・経費削減	有効活用	プラ梱包材・裏紙の再利用の徹底
	廃棄物の分別	紙、雑誌、ダンボールの資源化の徹底（小さい物は箱・袋に入れる）
		書類はシュレッダーで裁断。又は、業者に溶解処理を依頼し、資源化する。（カーボン紙は除く）★シュレッダー工数のムダの削減
		コピー用紙の使用量抑制、資源化の徹底。
		鉄、ステンレス、銅、アルミ、線材、電池、蛍光灯、プラスチック、木くずに分別する
		分別を徹底し資源化する。
鉄、ステンレス、銅、アルミ、線材、電池、蛍光灯、プラスチック、木くずに分別する		
環境に優しい製品の提案。	プラスチックの削減	顧客からの要望を受け、プラスチックの削減など、環境に優しい製品の提案を行い、顧客満足度のアップを実現する。
	エコライトの開発	CO ₂ 排出量削減に効果大のエコライトについて、顧客のニーズを取り込みバージョンアップしながら開発を続ける。
	環境負荷を意識した製品	SDGsにつながる具体的な内容を明確化し、開発・製造・販売を継続する。
業務効率・デジタル化	デジタル化の推進	申請用紙の提出⇒各自データ入力への移行 承認ルートワークフローのシステム化 など
	業務効率の推進	注文書等のPCからFAX・インターネットFAX化の周知・実施。 印刷処理の業務を減らす
その他	緊急事態対応	火災・地震等を想定した避難訓練の実施。
記録監視	化石燃料	灯油：使用禁止 LPG：温水器の適切な利用の推進
	水	手洗い、トイレ等での適切な利用の推進
	化学物質使用の管理	使用化学物質のリスト化、保管場所の明確化
	廃棄物	廃プラ、一般廃棄物、混合廃棄物など分別の推進

(5) 活動実績（2024年4月～2025年3月）

①活動目標基準値～目標値～実績値（売上高比）

CO2排出量 の売上高比（CO2排出量/売上高・百万円） < 2018年度～2024年度 >

	CO2排出量(Kg-CO2)/売上高(百万円)	CO2排出量 (Kg-CO2)
2016年度（基準）	119.5	57540
2018年度	132.7	55376
2019年度	141.7	45834
2020年度	134.5	44140
2021年度	127.2	41940
2022年度	80.95	34786
2023年度	106.4	30111
2024年度	136.2	28953



各項目別の売上高比

		2016年度 （基準）	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電力	kWh-CO2/百万円	140.75	176.56	112.42	152.67	205.57
灯油	ℓ/百万円	8.09	4.31	1.73	0.18	0.00
液化石油ガス（LPG）	Kg/百万円	0.22	0.24	0.18	0.20	0.23
ガソリン	ℓ/百万円	7.63	9.90	6.98	10.57	15.40
軽油	ℓ/百万円	3.34	0.81	0.86	0.96	2.2
廃プラスチック	Kg/百万円	2.20	5.31	2.65	2.19	2.16
一般ごみ	Kg/百万円	10.61	20.58	9.58	6.49	8.4
混合廃棄物	Kg/百万円	4.13	4.31	4.31	15.14	4.68
水道水	m ³ /百万円	0.73	0.68	0.44	0.59	0.64
化学物質の使用量	Kg/百万円	0.068	-	-	-	-

②カーボンニュートラルの実施状況・・・太陽光発電の実績

太陽光発電パネルを本社工場の屋根2面に乗せ、発電を開始して約10年になる。
2024年度の送電量は、2023年度より 553 KWh 多い実績となった。

設置主：工場の大家・ 関澤精機製作所 監視：当社にて行っている
 家主の了解を得て、CO2排出量の削減数値を 当社の 【環境経営レポート】 に記載している。

<CO2排出量の削減効果>

太陽光パネルの種類		結晶シリコン型 (CO2削減効果：0.5045Kg-CO2/kWh)
2024年4月1日 ～2025年3月31日	送電量	36,692 kWh
	CO2削減量	18,511 t-CO2
	CO2削減量 計算	36,139kWh×0.5045Kg-CO2/kWh=18,232 t-CO2/kWh
2015年9月30日 ～2025年3月31日	総送電量	362,166 kWh
	CO2削減量	182.71 t-CO2



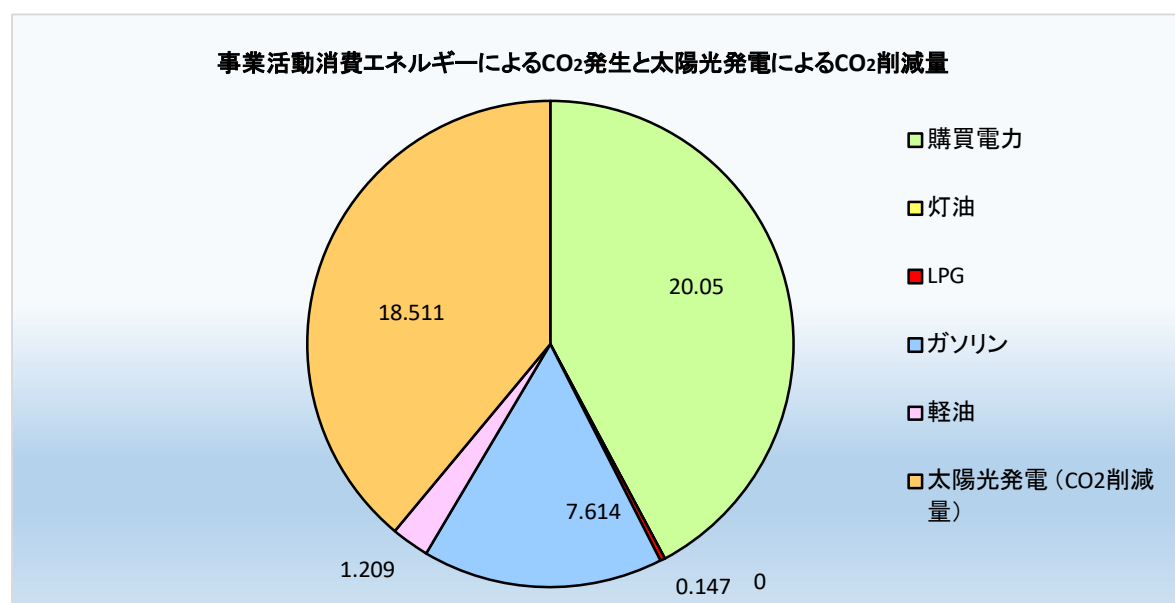
太陽光パネルは、設置から約10年経っていて
 平置きタイプのため、表面の汚れが昨年度より目立つ

1年間の発電量は、昨年度より若干多い
 その年度の天候に大きく左右されている



太陽光発電利用の環境への影響・・・2023年度 カーボン・ニュートラル試算

【発電事業】太陽光発電によるCO2削減量		事業活動消費エネルギー及び発生CO2		
36692 Kwh	18.511 t-CO2	購買電力	43702 kWh / 20.05 t-CO2	
		化石燃料	灯油	0 l / 0 t-CO2
			LPG	49 Kg / 0.147 t-CO2
			ガソリン	3282 l / 7.614 t-CO2
			軽油	468 l / 1.209 t-CO2
			上記合計	29.020 t-CO2
カーボンニュートラルに不足：9.502 t-CO2 前年より不足数量減少。生産活動の低下の影響が大				



③有機溶剤・管理溶剤の保管棚、表示、管理リスト、環境測定 等

管理溶剤保有量の削減の実行 及び

PRTR法 第一種対象化学物質の使用量の削減

使用量の削減の目標は達成している。(前年同様の活動)



④廃棄物の分別表示～分別活動・・・5S委員会中心となって活動継続

◆資源ごみ・・・廃プラスチック・ダンボール・紙・コピー用紙

及び 各金属 (鉄、アルミ、真鍮 基板等に分別)

分別意識の不足 ← 5S委員会での分別資料作成、分別指示



分別表
(意識付け)
前年同様の
継続



分別箱
(前年と同様の
分別容器・分別方法
の継続)

◆ 廃プラスチックに関しては、分別意識、活動が浸透、資源として処理出来ており、海洋汚染、海洋生物への影響を食い止める活動となる。⇒ SDGsの活動につながる。

◆ 現状の分別は、サーマルリサイクル (固形燃料として使用)

→ マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルへの転換への実行は未実施。
実施については、環境など難しいものがあるため、社内のできる分別を推進する

⑤エコアクション21 教育訓練の実行

・掲示板及び表示による意識付け、関係資料の回覧

・長野産環境主催の エコアクション21 オンラインセミナー への参加・・・

5S委員はオンラインセミナーへの参加を行った

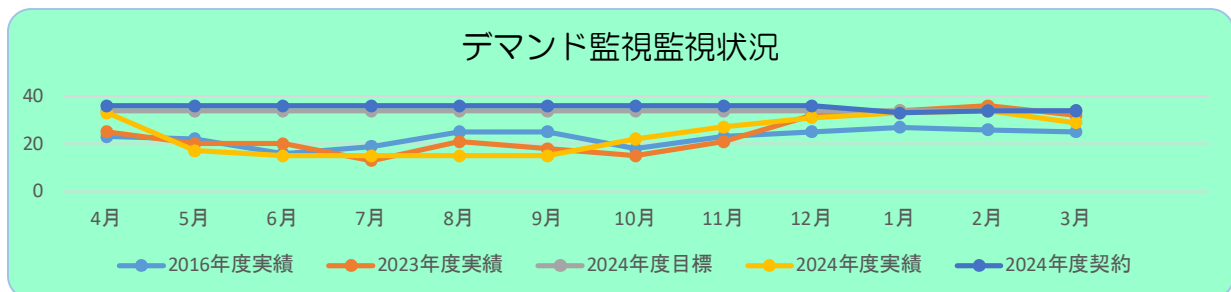
⑥電力デマンド監視システム…2012年11月開始 ～ 継続実施の効果及び実績データ

◆デマンド監視システムの継続活用

前年度より数値の改善が見られ、契約電力も下がってきている

冬場のエアコンの起動タイマー設定による起動、集中を避ける策をとる → 効果あり → 継続する

※監視システムは継続実施。冷暖房起動時の時間差ONの徹底について、社員への意識付け、及びON-OFFの室温範囲の意識付け。→意識は、定着しつつあり、継続。



単位	実施 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績デマンド KW	2016年度実績	23	22	16	19	25	25	18	23	25	27	26	25
	2023年度実績	25	20	20	13	21	18	15	21	32	34	36	32
	2024年度目標	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
	2024年度実績	33	17	15	15	15	15	22	27	31	33	34	29
契約電力	2024年度契約	36	36	36	36	36	36	36	36	36	33	34	34

- ⑦『環境負荷を意識した製品開発の推進』の活動実績
 環境経営方針 『環境に優しい製品の提案』の展開⇒SDGsゴール14の活動に繋がる
 ・・・・前年度からの継続実行・・・+α顧客要求の実現

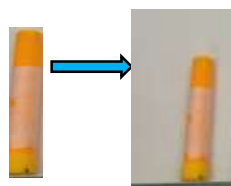
”プラスチックの使用量削減”

現在まで、商品各社メーカーが包装資材に使用している物として、プリスターパックを多用していた。プラスチックの使用量削減・包装資材のコスト削減要求の時代背景によ袋又はシュリンクフィルムによる包装が多くなり80%以上プラスチックの削減ができるなかなか自動化が出来なかった。当初は筒状のシュリンクフィルムを台紙に張付けた状態の物に自動で製品を挿入しシュリンクする装置を開発した。その後シュリンクフィルムで製品をシュリンクした製品を台紙に張り付ける装置を開発現在ユーザーによる稼働テストを行っている。

- ・樹脂使用量の削減 ⇒使い捨てプラスチックの削減に通ずる実活動。
- ・CO2排出量の削減
- ・重量の削減・省スペースによる輸送費の低減。



プリスターパック梱包例(台紙+プラスチック)
 (通販サイトより引用)
 製品に合わせて先に樹脂を成型



シュリンクフィルムに収まった単体の製品を台紙に張り付ける

- ⑧常に、お客様の要望に応える検査用LED照明（エコライト）の開発を続ける
 開発当初主流のハロゲンランプ光源の照明から、LED光源の照明への切替え
 → 環境問題に配慮した製品開発の実現

NEWタイプ及び照度アップ新規開発品 ECO-LIGHT（エコライト）を進める
 (第三世代の開発)

- ◇開発・製造元 : 株式会社サン・ブライト（当社）
- 販売元 : 株式会社ナガタ（長野県岡谷市大栄町2-4-15）

省エネルギー、省資源を実現

- ★・消費電力・・・90%以上カット
- ・CO2排出量・・・90%以上カット

比較データ（点灯条件及びデータは、株式会社ナガタのカタログから引用しています。）

		単位	1年間	3年間	5年間
LED光源 (当社開発)	使用電力	Kw	28.8	86.4	144
	CO2排出量	Kg	10.9	32.7	54.5
C社製 プロジェクタ	使用電力	Kw	372.0	1116.0	1860
	CO2排出量	Kg	140.6	421.8	703
削減目安	削減電力	Kw	343.2	1029.6	1716
	削減CO2	Kg	129.7	389.2	648.5
削減率			92.3% 減	92.3% 減	92.3% 減

稼働： 8時間/日 ・ 25日/月 点灯

LED 点灯スイッチレベル： MaX (90,000L x・・・距離200mm)

CO2排出量係数 : 0.3788/Kwhにて算出

LED寿命40,000時間以上（メーカーカタログ）

- ・2024年度の生産台数(393台) から集計した電力・CO2削減の実績値（推定）

2024年実績（1年間使用）

・使用電力の削減	195.280Kw
・CO2削減	49,675Kg (49.675 t)



<課題> 大光量仕様の新たな省電力の製品開発中であるが、軌道に乗せるには、未だ時間を様子。

⑨みどりの植栽（5S委員会中心の活動）の継続

本年度も、花・つる植物（サンパチェンス、ひまわり、パッションフルーツ、マリーゴールド、サンパチュエンス、等・・・の植栽実施。

5S委員会を中心に活動を継続し、社員より花のリクエストをしてもらうなど、また、本年は宿根草を植え来期にも咲くように考えたり、休日の水やりができない時のためにペットボトルを使用し自動で水やりができるように工夫しました。社員全員で行える活動になるよう今後も継続する。

- 目的：①大気中のCO2削減（植物の特性の活用）
②環境整備意識の高揚・・・近隣地域の環境保全（外部コミュニケーション）
③夏場の工場周辺温度上昇の抑制を図る省エネルギー策として



⑩ 活動の継続

2009年10月にエコアクション21の認証・登録いただいてから、15年の活動となります。"認証・登録10年"の感謝状をいただいてからも、5年目の活動となり、取組方針、内容実績の把握方法等、見直していく必要があります。

SDGsの取組を含め、2017年改定版のガイドラインへの対応・実行・見直しによる社員が感ずる企業の魅力度アップ 及び 外部への企業アピール度を高め、事業を継続していきます。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 適用される環境関連法規制

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次の通りです。

関 連 法	要 求 事 項	報告書等遵守の証拠	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の保管、収集運搬・処理業者との契約及び委託、マニフェスト交付、県知事（松本地域振興局）への報告	産業廃棄物管理票交付状況報告書 提出 2024/6/30	遵守
消防法	灯油タンク周囲への流失防止、貯蔵管理と取扱届出。 消防用設備等（特殊設備等）点検及び報告	・少量危険物・指定可燃物貯蔵扱い届出書 H21/2/24 ・消防設備等点検結果報告書 2022/4/11	遵守
RoHS指令	EU域内にて、電気・電子機器における有害物質の使用制限に関する法律（RoHS指令⇒RoHS2指令への変更対応（禁止物質 10 種類）◆RoHS3対応の実施	・購入先・製造メーカーに対応しているかの確認をする	遵守
PRTR制度(法) 化審法及び化管法	化学物質の自主的な管理改善の促進、環境保全上の支障の未然防止（化管法） 安衛法・有機則の遵守及び1年毎の環境測定の必要性の判断(年度初化審法及び化管法の改正対応→化学物質管理者の選任実施済)	講習会終了証及び報告書・任命者の工場内掲示 (管理リスト作成・教育対応)	遵守
グリーン購入法	物品購入、借り受け、役務を受ける場合、できる限り、環境物品等を選択する。 (必須から除外する) →グリーン調達体制づくりへ切り替え	リスト作成は任意	必須管理リストから外す (任意管理)
フロン排出抑制法	対象エアコン（業務用エアコン）の点検及び記録の保存	エアコンの点検表作成 3か月に1度の簡易検査の実施	遵守
PCリサイクル法	廃棄時に適正に管理・処理	廃棄時に適正に管理	遵守
家電リサイクル法	・特定家電機器廃棄物を排出する際の適正な引渡し、収集・再商品化等に関する費用負担 ・業務用以外のエアコン、冷蔵庫等の廃棄時に適正に管理・処理	廃棄時に適正に管理	遵守
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い、自治体に登録された取り扱い業者への廃車引き渡し	リースがメインにてリース契約会社が実際は処理	遵守
太陽電池発電の保安規制	・事前規制：技術基準の適合 基礎情報の届出 ・現状報告の作成（設置者・関澤精機） ・使用前自己確認制度の結果の届出	（設置者の大家対応）	遵守

(2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社は、EA21環境管理責任者及びシステム管理者が中心となり適切に監視しており、環境関連法規への違反はありません。

尚、2024年実施の新規に追加された法規制の実施についての活動・監視を追加して報告する。

又、現在及び過去5年、違反の事実の無いことを確認いたしました。

（創業以来、違反の事実及び記録は無い）

同様に関係機関及び近隣住民からの苦情、指摘、訴訟などは、ありません。

内 容	過去5年間の結果
法律違反の有無	なし
訴訟の有無	なし

作成者	代表者
櫻井	猿田

実施日:2025年 9月 2日

見直しに必要な情報					変更の必要性の有無・指示事項																																																								
<p>[取り組み状況の評価結果]</p> <p>1.環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業所に適用される環境関連法規の遵守 ・マニフェストに関する報告書を県へを早急に提出が必要。 <p>2.問題点の是正及び予防、リスクへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境上の緊急事態への対応 ・プロセスの作成、社員へ周知 <p>3.前回までの代表者の指示事項への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の組織運営が移管できていない為、運営に支障でている。早急の引継ぎが必要、若しくは準備期間が必要。 <p>4.前回 審査指摘事項への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチックの分別での紙類の混入は減少したが、分別する際の判断基準として使用している分別表を修正する必要がある。 (特に鋼、鉄、ステンレス、アルミ等) <p>[目標・環境活動計画の達成状況](詳細は環境活動計画書による)</p>					<p>[環境方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの内容を含む環境経営方針の見直しが必要。 <p>変更の必要性: <input checked="" type="radio"/> 有 無</p>																																																								
					<p>[目標・活動計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減。 <p>変更の必要性: <input checked="" type="radio"/> 有 無</p>																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>判定</th> <th>記事・コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO2排出量</td> <td>101.17</td> <td>136.55</td> <td>×</td> <td>2023年度より増</td> </tr> <tr> <td>電気使用量の削減</td> <td>142.06</td> <td>205.57</td> <td>×</td> <td>2023年度より増</td> </tr> <tr> <td>灯油使用量の削減</td> <td>712.72</td> <td>0.00</td> <td>○</td> <td>2023年度より減</td> </tr> <tr> <td>LPG使用量の削減</td> <td>0.20</td> <td>0.23</td> <td>×</td> <td>2023年度より増</td> </tr> <tr> <td>ガソリン使用量の削減</td> <td>8.83</td> <td>15.44</td> <td>×</td> <td>2023年度より増</td> </tr> <tr> <td>軽油使用量の削減</td> <td>0.84</td> <td>2.20</td> <td>×</td> <td>2023年度より増</td> </tr> <tr> <td>廃プラの削減</td> <td>3.26</td> <td>2.16</td> <td>○</td> <td>2023年度より減</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物の削減</td> <td>12.44</td> <td>8.44</td> <td>○</td> <td>2023年度より減</td> </tr> <tr> <td>混合廃棄物の削減</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>○</td> <td>2023年度より減</td> </tr> <tr> <td>水使用量の削減</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>×</td> <td>2023年度より増</td> </tr> </tbody> </table>					目標項目	目標値	実績値	判定	記事・コメント	CO2排出量	101.17	136.55	×	2023年度より増	電気使用量の削減	142.06	205.57	×	2023年度より増	灯油使用量の削減	712.72	0.00	○	2023年度より減	LPG使用量の削減	0.20	0.23	×	2023年度より増	ガソリン使用量の削減	8.83	15.44	×	2023年度より増	軽油使用量の削減	0.84	2.20	×	2023年度より増	廃プラの削減	3.26	2.16	○	2023年度より減	一般廃棄物の削減	12.44	8.44	○	2023年度より減	混合廃棄物の削減	8	5	○	2023年度より減	水使用量の削減	1	1	×	2023年度より増	<p>[環境経営システムの各要素]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の見直し <p>変更の必要性: <input checked="" type="radio"/> 有 無</p>	
目標項目	目標値	実績値	判定	記事・コメント																																																									
CO2排出量	101.17	136.55	×	2023年度より増																																																									
電気使用量の削減	142.06	205.57	×	2023年度より増																																																									
灯油使用量の削減	712.72	0.00	○	2023年度より減																																																									
LPG使用量の削減	0.20	0.23	×	2023年度より増																																																									
ガソリン使用量の削減	8.83	15.44	×	2023年度より増																																																									
軽油使用量の削減	0.84	2.20	×	2023年度より増																																																									
廃プラの削減	3.26	2.16	○	2023年度より減																																																									
一般廃棄物の削減	12.44	8.44	○	2023年度より減																																																									
混合廃棄物の削減	8	5	○	2023年度より減																																																									
水使用量の削減	1	1	×	2023年度より増																																																									
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>1.外部コミュニケーション記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃活動を実施計画の検討。 <p>2.環境関連法規制等の動向への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメントの実施(CREATE-SIMPLE) 					<p>総合評価と次年度の指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、エコアクション21の運営の引継ぎ完了。 ・全社員が協力してエコアクション21、SDGsの活動を実施していくこと。 																																																								